



平成22年3月期 第1四半期決算短信

平成21年7月24日

上場会社名 日本電気硝子株式会社
 コード番号 5214 URL <http://www.neg.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役 社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役専務執行役員
 四半期報告書提出予定日 平成21年8月13日
 配当支払開始予定日 —

上場取引所 東大

(氏名) 有岡 雅行

(氏名) 阿閉 正美

TEL 077-537-1700

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第1四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第1四半期	62,605	△39.9	10,342	△69.8	8,068	△75.7	832	△95.6
21年3月期第1四半期	104,234	—	34,232	—	33,136	—	18,861	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第1四半期	1.67	—
21年3月期第1四半期	37.91	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第1四半期	588,034	353,522	59.5	703.76
21年3月期	588,413	352,744	59.3	701.62

(参考) 自己資本 22年3月期第1四半期 350,107百万円 21年3月期 349,043百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	5.00	—	5.00	10.00
22年3月期	—	—	—	—	—
22年3月期 (予想)	—	5.00	—	5.00 ～6.00	10.00 ～11.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期	134,000	△33.8	21,000	△67.6	17,000	△72.7	6,000	△82.6	12.06
連結累計期間	～144,000	～△28.9	～27,000	～△58.4	～23,000	～△63.0	～10,000	～△71.0	～20.10
通期	—	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

当社は5ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報に記載のとおり第2四半期連結累計期間の業績予想をレンジ形式により開示しています。

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
新規 一社 (社名) 除外 一社 (社名)
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有
(注)詳細は6ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)
- | | |
|-----------------|---|
| ① 会計基準等の改正に伴う変更 | 無 |
| ② ①以外の変更 | 無 |
- (4) 発行済株式数(普通株式)
- | | | | | |
|----------------------|-------------|--------------|-------------|--------------|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 22年3月期第1四半期 | 497,616,234株 | 21年3月期 | 497,616,234株 |
| ② 期末自己株式数 | 22年3月期第1四半期 | 137,713株 | 21年3月期 | 131,778株 |
| ③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) | 22年3月期第1四半期 | 497,481,628株 | 21年3月期第1四半期 | 497,494,911株 |

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想は、当社が合理的と判断する一定の前提に基づいて作成したものであり、リスクや不確定要素を含んだものです。実際の業績は、さまざまな重要な要素により、業績予想と大きく異なる結果となりうることをご承知おきください。詳細は5ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

[第1四半期累計期間]

(1) 概況

世界経済は、アジアにおいて景気に持ち直しの動きが見られましたが、米国や欧州では引き続き深刻な状況にあり、全般的な基調としては景気の後退局面が続きました。

日本経済は、輸出がアジア向けを中心に持ち直し、経済対策の効果等により個人消費の浮揚の動きがありました。設備投資や住宅投資は大幅に減少し、厳しい雇用情勢も継続しており、先行き予断を許さない状況にありました。

このような状況下、当社グループの経営環境は、液晶用ガラスの需要が得意先業界の急速な稼働上昇に伴い急回復したほか、その他の事業分野においても一部には底打ちの動きが見られましたが、全体としてはなお厳しい局面が続きました。

(2) 経営成績

	前年同四半期 (億円)	当第1四半期累計期間 (億円)	増減 (%)
売上高	1,042	626	△39.9
営業利益	342	103	△69.8
経常利益	331	80	△75.7
純利益	188	8	△95.6

(注) 記載金額は、億円未満を切捨てて表示しています。

(売上高)

販売は、後述のとおり一部の製品分野で前四半期（平成21年1月1日～3月31日）を底に回復基調をたどりましたが、全体としては昨年度のピークを下回る水準に止まりました。この結果、売上高は前年同四半期（平成20年4月1日～6月30日）を大きく下回りました。

・ディスプレイ用ガラス：

液晶用ガラスの販売が需要の急回復により好転する一方、ブラウン管用ガラスの販売が落ち込みました。

・電子部品用ガラス：

光通信関連やイメージセンサー用ガラスを中心に販売が回復に転じました。

・ガラスファイバ：

主力の自動車部品向け用途の販売は、需要面で底打ちの動きが見えてきたものの、低い水準に止まりました。

・建築・耐熱・照明薬事用その他：

国内外の住宅・建築需要低迷の影響を受け、販売が振るいませんでした。

(損益面)

販売や稼働がなお低い水準で推移したことから、前年同四半期との比較では大幅な減益となったものの、液晶用ガラスの需要の復調もあり、前四半期と比べると増益となりました。

なお、特別損失として、資産の整理に伴う固定資産除却損や中国子会社の解散に係わる関係会社整理損が発生しました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

	前期末 (億円)	当第1四半期末 (億円)	増減 (億円)
総資産	5,884	5,880	△4
負債	2,356	2,345	△11
純資産	3,527	3,535	8

(注) 記載金額は、億円未満を切捨てて表示しています。

(総資産)

流動資産では、設備代金の支払いなどが増加したため、現金及び預金が減少しました。また、販売の復調に伴い、受取手形及び売掛金が増加する一方で商品及び製品が減少しました。固定資産では、薄型パネルディスプレイ用ガラス関連設備を中心に有形固定資産が増加しました。

(負債)

流動負債では、減産の影響により支払手形及び買掛金が減少する一方で、未払法人税などが増加しました。固定負債では、特別修繕引当金が増加しました。

(純資産)

主として配当により利益剰余金が減少したほか、株式市況の回復によりその他有価証券評価差額金が、また円安により為替換算調整勘定がそれぞれ増加しました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

	21年3月期 第2四半期累計期間 (20/4～20/9) (億円)	22年3月期 第2四半期累計期間 (21/4～21/9) (億円)	増減 (%)
売上高	2,024	1,340～1,440	△33.8～△28.9
営業利益	648	210～270	△67.6～△58.4
経常利益	622	170～230	△72.7～△63.0
純利益	344	60～100	△82.6～△71.0

(注) 記載金額は、億円未満を切捨てて表示しています。

液晶用基板ガラスは引き続き旺盛な需要が予想されます。当社といたしましては、供給能力の一層の引上げを図るとともに、生産性の改善やコスト低減を推進することにより、収益性の向上に全力を上げてまいります。一方、その他の事業分野においても、ガラスファイバや電子部品用ガラスが回復基調に転じており、タイムリーな稼働の引上げなどにより需要動向に適確に対応してまいります。(本日付で別途「平成22年3月期第2四半期連結累計期間の業績予想に関するお知らせ」を公表しております。)

当社を取り巻く事業環境はとりわけ変化が激しく、製品の需給や価格の動向などによる業績への影響が極めて大きいと見られ、半年～1年先の業績を的確に予想することは困難な状況にあります。については、第2四半期連結累計期間の業績予想をレンジ形式により開示させて頂きます。諸要素が当社の想定よりも上振れる(好転する)形で推移した場合はレンジの上限に近づき、逆に下振れる(悪化する)形で推移した場合はレンジの下限に近づくと予想しております。

(業績予想の開示について)

証券取引所が定める適時開示基準に基づく開示に加えて、投資家の皆さまに、より迅速・適切な業績情報をご提供するべく、以下の要領で業績予想をお知らせします。

予定時期	内 容	
	当期(累計ベース)業績見込み (数値開示)	次期(四半期ベース)見通し (売上高・営業利益をレンジ開示)
6月下旬	第1四半期	第2四半期
9月下旬	第2四半期	第3四半期
12月下旬	第3四半期	第4四半期
3月下旬	通期	第1四半期

本資料に記載されている業績予想は、当社が合理的と判断する一定の前提に基づいて作成したものであり、リスクや不確定要素を含んだものです。実際の業績は、さまざまな重要な要素により、業績予想と大きく異なる結果となりうることをご承知おきください。実際の業績に影響を与える要素としては、世界の市場における経済情勢、貿易規制などの各種規制、主要市場における製品需給の急激な変動、資本市場での相場の変動、ドル・ユーロなど対円為替相場や金利の大幅な変動などの金融情勢、急激な技術変化などが含まれますが、これ以外にもさまざまな要素があります。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(簡便な会計処理)

固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している有形固定資産について、年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定しています。

繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等に著しい変化がなく、かつ、一時差異等の発生状況に大幅な変動がないため、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっています。

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

税金費用の計算

当第1四半期会計期間を含む年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しています。

なお、法人税等調整額は法人税等を含めて表示しています。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	88,740	96,693
受取手形及び売掛金	53,664	47,166
商品及び製品	21,528	25,585
仕掛品	2,674	1,348
原材料及び貯蔵品	14,900	15,317
その他	14,858	14,552
貸倒引当金	△843	△601
流動資産合計	195,522	200,062
固定資産		
有形固定資産		
機械装置及び運搬具(純額)	271,973	264,578
その他(純額)	93,671	98,281
有形固定資産合計	365,644	362,859
無形固定資産	764	934
投資その他の資産		
その他	26,482	24,937
貸倒引当金	△380	△380
投資その他の資産合計	26,101	24,557
固定資産合計	392,511	388,351
資産合計	588,034	588,413
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	22,562	30,035
短期借入金	65,604	64,894
1年内償還予定の社債	20,000	20,000
未払法人税等	4,573	1,348
引当金	116	222
その他	50,522	49,139
流動負債合計	163,379	165,640
固定負債		
長期借入金	44,036	44,988
特別修繕引当金	25,089	23,132
引当金	1,820	1,790
その他	186	118
固定負債合計	71,132	70,029
負債合計	234,512	235,669

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	32,155	32,155
資本剰余金	34,357	34,358
利益剰余金	288,406	290,061
自己株式	△201	△196
株主資本合計	354,718	356,378
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	2,957	1,410
繰延ヘッジ損益	△23	10
為替換算調整勘定	△7,544	△8,757
評価・換算差額等合計	△4,611	△7,335
少数株主持分	3,414	3,700
純資産合計	353,522	352,744
負債純資産合計	588,034	588,413

(2) 四半期連結損益計算書
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
売上高	104,234	62,605
売上原価	63,960	47,681
売上総利益	40,273	14,923
販売費及び一般管理費	6,041	4,581
営業利益	34,232	10,342
営業外収益		
受取利息	—	80
受取配当金	149	85
その他	365	195
営業外収益合計	515	362
営業外費用		
支払利息	410	426
為替差損	419	323
固定資産除却損	343	475
休止固定資産減価償却費	—	844
その他	437	565
営業外費用合計	1,611	2,635
経常利益	33,136	8,068
特別利益		
前期損益修正益	33	—
特別利益合計	33	—
特別損失		
固定資産除却損	814	2,145
関係会社整理損	—	1,701
その他	—	99
特別損失合計	814	3,946
税金等調整前四半期純利益	32,355	4,122
法人税等	13,296	3,617
少数株主利益又は少数株主損失(△)	197	△327
四半期純利益	18,861	832

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	32,355	4,122
減価償却費	10,172	10,477
売上債権の増減額 (△は増加)	△4,050	△6,266
たな卸資産の増減額 (△は増加)	1,548	3,431
仕入債務の増減額 (△は減少)	△394	△7,082
法人税等の支払額	△28,424	△1,017
その他	△3,386	3,844
営業活動によるキャッシュ・フロー	7,820	7,509
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	△651	—
固定資産の取得による支出	△52,229	△13,000
その他	△62	994
投資活動によるキャッシュ・フロー	△52,943	△12,006
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	1,000	—
長期借入れによる収入	20,000	—
長期借入金の返済による支出	△695	△422
配当金の支払額	△2,347	△2,352
その他	△361	△8
財務活動によるキャッシュ・フロー	17,594	△2,782
現金及び現金同等物に係る換算差額	△867	257
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△28,396	△7,022
現金及び現金同等物の期首残高	101,046	94,623
現金及び現金同等物の四半期末残高	72,650	87,600

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

①事業の種類別セグメント情報

前第1四半期連結累計期間（自平成20年4月1日至平成20年6月30日）及び当第1四半期連結累計期間（自平成21年4月1日至平成21年6月30日）

当社グループ（当社及び連結子会社）の事業は、「ガラス事業」と「その他」に区分できますが、全セグメントの売上高の合計及び営業利益の金額の合計額に占める「ガラス事業」の割合がいずれも90%を超えているため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しています。

②所在地別セグメント情報

前第1四半期連結累計期間（自平成20年4月1日至平成20年6月30日）

	日本 (百万円)	アジア (百万円)	その他の地域 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高	85,387	68,099	826	154,313	(50,078)	104,234
営業利益	30,384	3,115	39	33,539	692	34,232

当第1四半期連結累計期間（自平成21年4月1日至平成21年6月30日）

	日本 (百万円)	アジア (百万円)	その他の地域 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高	55,556	40,109	235	95,901	(33,295)	62,605
営業利益	11,991	△662	△1	11,328	(986)	10,342

(注) 1. 記載金額は、百万円未満を切捨てて表示しています。

2. 国又は地域の区分は、地理的近接度によっています。

3. 本邦以外の区分に属する主な国又は地域

(1) アジア …………… マレーシア、中国、韓国、台湾

(2) その他の地域 …………… 米国

③海外売上高

前第1四半期連結累計期間（自平成20年4月1日至平成20年6月30日）

	アジア	その他の地域	計
海外売上高（百万円）	68,615	4,915	73,530
連結売上高（百万円）			104,234
連結売上高に占める海外売上高の割合（%）	65.8	4.7	70.5

当第1四半期連結累計期間（自平成21年4月1日至平成21年6月30日）

	アジア	その他の地域	計
海外売上高（百万円）	40,344	2,162	42,507
連結売上高（百万円）			62,605
連結売上高に占める海外売上高の割合（%）	64.4	3.5	67.9

(注) 1. 記載金額は、百万円未満を切捨てて表示しています。

2. 国又は地域の区分は、地理的近接度によっています。

3. 各区分に属する主な国又は地域

(1) アジア …………… マレーシア、中国、韓国、台湾

(2) その他の地域 …………… 米国

4. 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高です。

- (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

6. 販売の状況

事業の種類別 セグメント	部門	項目	前第1四半期 連結累計期間		当第1四半期 連結累計期間		増減	
			金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	比率 (%)
ガラス 事業	情報・ 通信関 連部門	ディスプレイ用ガラス	83,934	80.5	50,959	81.4	△32,975	△39.3
		電子部品用ガラス	3,605	3.5	2,206	3.5	△1,399	△38.8
		計	87,539	84.0	53,165	84.9	△34,374	△39.3
	その他 部門	ガラスファイバ	8,904	8.5	3,494	5.6	△5,410	△60.8
		建築・耐熱・照明薬事用その他	7,397	7.1	5,704	9.1	△1,693	△22.9
		計	16,302	15.6	9,198	14.7	△7,104	△43.6
ガラス事業計		103,842	99.6	62,364	99.6	△41,478	△39.9	
その他	—		392	0.4	241	0.4	△151	△38.5
合計			104,234	100	62,605	100	△41,629	△39.9

- (注) 1. 記載金額は、百万円未満を切捨てて表示しています。
2. 上記の金額は、セグメント間取引の相殺除去後の数値です。